

教育理念：明るくたくましく 希望をもって、障がいをはりこえる力を育てる

学校教育目標 「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」

目指す学校像 児童生徒が、笑顔で学び生活できる学校

目指す児童生徒像

「社会で生きる力」を身に付け、生活に生かすことのできる児童生徒

★ 本校では、「社会で生きる力」を学校教育目標との関連から、「人間関係づくり」「コミュニケーション」「働く習慣」「生活習慣」を重点指導内容としてとらえています。

令和 6 年度「重点目標」

児童生徒の将来を見据えた「学び」と「地域」と「対話」
～ みんなでつなぐ、つなげる ～

何ができるようになるか

1【学校教育の基本】

- ① 学習したことや体験したことを実生活に生かす。
- ② 自分の考えや思いを表現する。
- ③ 粘り強く最後まで取り組む。

何を学ぶか

2【教育課程の編成】

- ① 各教科等で身に付けるべき力や生活習慣、働く習慣を身に付ける。
- ② 感じたことや考えたことを、得意な方法で表現する。
- ③ 見通しをもって、自ら活動する。

どのように学ぶか

3【教育課程の実施】

- 基礎的・基本的事項の着実な習得を目指した教育活動。
- 各教科等で相互に連携した学習活動。
- 地域社会や資源を活用した体験活動。
- 主体的に目標や計画をたて、振り返ることができる行事や学習活動。

子どもたちの発達をどのように支援するか

4【現在及び将来の生活を見据えた指導】

- 児童生徒一人一人の良さや可能性を、把握し伸ばす指導・支援に努める。
- 家庭や関係機関等と連携して、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行う。
- 教職員間で情報共有を行い、連携・協働して指導・支援に当たる。

何が身に付いたか

5【教育課程の評価】

- ① 学んだことを学習や生活のどの場面でも生かしたらよいか考えている。
- ② 自分が感じたこと、考えたことを相手やTPOに応じた表現方法で伝えている。
- ③ 活動に見通しをもち、やり遂げるにはどうしたらよいか考え、意欲的に行動している。

実施するために何が必要か

6【指導体制の充実／家庭・地域との連携・協働】

- 「わからないスタイル（児童生徒の「できた!」、「わかった!」）」を基盤とした授業・生活づくりの推進。
- 個別的教育支援計画や個別の指導計画を活用した家庭、関係機関等との連携強化。
- 校内外における交流及び共同学習の一層の推進。
- 地域教育力の活用や地域の関係機関との情報共有の促進。

「社会で生きる力」の育成を目指した、稚内養護学校の教育（基本方針）

確かな学力	豊かな人間性	健康・安全	発達の支援
将来の自立及び社会参加に繋がる確かな学力を育成に努める。	教育活動全体を通じて、豊かな心の育成に努める。	健康で安全な社会生活を営むための資質・能力の育成に努める。	個々のよさを活かし可能性を最大限に引き出す教育実践に努める。



北海道稚内養護学校

〒098-6642 稚内市声問 5 丁目 23-7

tel.0162-26-2292 fax.0162-26-2293

<http://www.wakkanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/>

